# ＦＩＡ国際ドライバーライセンス規定の補足事項

**国際ライセンスの更新条件**
**国際モータースポーツ競技規則付則Ｌ項　第１章**
**第10条　10．４）、第11条　11．６）**

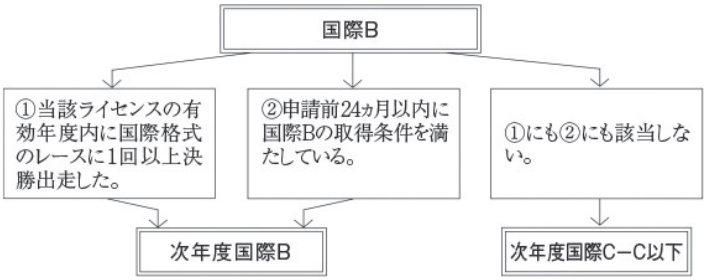
グレードＡまたはＢライセンスに対する条件を維持するためには、そのドライバーは12ヵ月毎に適切なカテゴリーの国際格式競技に最低１戦出場しているか、またそうでない場合には国際格式競技の練習走行期間の間、ライセンスを発給しているＡＳＮが納得するまで、再審査されなくてはならない。

ＪＡＦは日本の国際レースの開催状況を考慮して、国際モータースポーツ競技規則から解釈できる範囲において、国際ライセンス取得・更新申請の際の競技会出場実績を下記の通り取り扱うこととする。

国際Ａ・Ｂライセンスの更新条件である「当該年度に国際格式競技に出場した場合」に加えて、下記条件にても更新申請を認める。

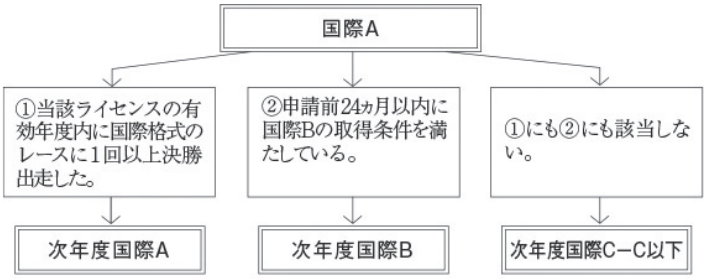
１）国際Ｂライセンス更新の場合※

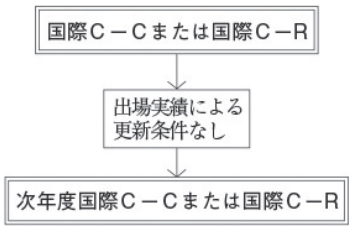
国際Ｂライセンスの取得方法に関わらず（推薦による取得も含む）、国際モータースポーツ競技規則付則Ｌ項の記述に従い、申請前の24ヵ月以内に取得条件を満たしている者は更新を認める。




２）国際Ａライセンス更新の場合※

国際Ａライセンスの取得方法に関わらず（推薦による取得も含む）、国際モータースポーツ競技規則付則Ｌ項の記述に従い、申請前24ヵ月以内に国際Ｂの取得条件を満たしている者は、国際Ｂライセンスへの降格更新を認める。




※国際Ａ・Ｂライセンスの更新条件にある国際格式レースの決勝出走実績は、当該ライセンスを所得した後の実績である。

## 国際Ａ・Ｂ・Ｃ－Ｃ・Ｃ－Ｒライセンスの取得方法（抜粋）

### 国際Ａ

下記条件を満たすこと
(1) 国際C-C以上を必要とする選手権(L項付則1参照)で6競技会に完走していること。
(2) L項付則1のポイント表において累計14ポイントを獲得していなければならない。ASNは次のいずれかで累積したポイント数のいずれか高い方を考慮する。(a)申請日直前の３カレンダー年間、あるいは (b) 申請のカレンダー年に累計したポイントに加えて申請日直前の２カレンダー年間。
(a)の申請日の直前の３カレンダー年に２０２０年または２０２１年が含まれる場合、ＡＳＮは申請の年の直前の４カレンダー年のうちいずれか３カレンダー年間で蓄積された最も高いポイント数を考慮する。(b)に記載された申請日の直前の２カレンダー年に２０２０年または２０２１年が含まれる場合、ＡＳＮは、申請のカレンダー年の累積ポイントに加えて、申請日の年の直前の３カレンダー年のうちのいずれか２カレンダー年における最高の累積ポイントを考慮する。
(3) L項付則1にあるいずれかの選手権での2つのフルシーズンにおいて、各々少なくとも 80%に決勝出走していなければならない。
*詳細はL項の第1章第11条および付則1を参照してください。
*国際Aライセンス申請にあたっては、実績確認に時間を要し、申請日当日に発給できない場合がありますので、事前にJAF窓口にご相談ください。

### 国際Ｂ

国際C-Cの所持者で、申請前24ヵ月以内にJAF公認レースに5回以上の出場実績がある者。

### 国際Ｃ－Ｃ

国内Ａ、限定Ａまたは国際Ｃ－Ｒの所持者で、申請前２４ヵ月以内にＪＡＦ公認競技に１０回以上、そのうちレースに５回以上の出場実績がある者。
※年齢が満１６歳以上満１８歳未満で、上記に定める申請条件を満たした者は、ライセンス取得に関する親権者の同意を得た上、参加できる競技が限定された国際Ｃ－Ｃの申請を可能とする。

ＣＩＫ－ＦＩＡカート国際ドライバーライセンスＥの所持者で、申請前２４ヵ月以内にＪＡＦ公認カート競技に１０回以上の出場実績がある者。
※年齢が満１６歳以上満１８歳未満の「ＣＩＫ－ＦＩＡカート国際ドライバーライセンスＥの所持者で、申請前２４ヵ月以内にＪＡＦ全日本カート選手権競技に１０回以上の出場実績がある者」は、ライセンス取得に関する親権者の同意を得た上、参加できる競技が限定された国際Ｃ－Ｃの申請を可能とする。

### 国際Ｃ－Ｒ

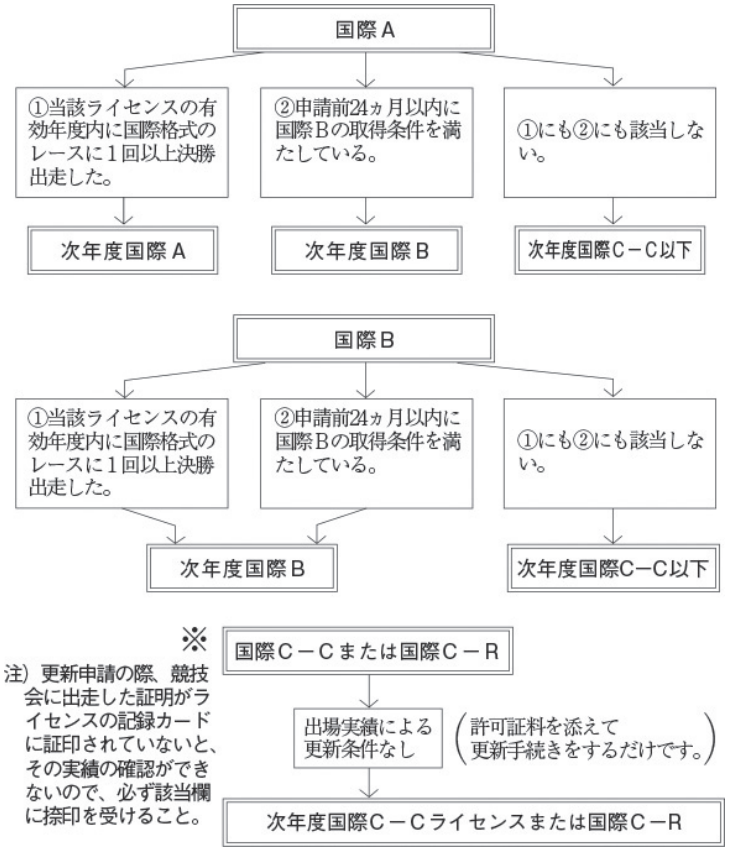
国内Aの所持者で、申請前24 ヵ月以内にJAF公認競技に 10回以上、そのうちラリー、ヒルクライム競技に5回以上の出場実績がある者。

### 国内Ａ・限定Ａ

### 国際Ｅ

※リタイヤ、ミスコースなどは完走した競技会出場実績として認められません

## 国際Ａ・Ｂライセンスの更新条件（抜粋）

国際競技運転者許可証（Ａ・Ｂ）は“ＦＩＡ国際ドライバーライセンス規定”に従い発給される。またその更新条件についても明記されており、詳細については同規定を参照のこと。

現在所持しているものの更新条件は下図に要約してあるので、確認の上申請手続きをすること。